

## 殺菌剤

名称:ユニフォーム粒剤  
種類:アゾキシストロビン・メタラキシルM粒剤

### 適用の範囲と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数	メタラキシル及びメタラキシルMを含む農薬の総使用回数
みょうが (茎葉)	根茎腐敗病	18kg/10a	みょうが(花穂)の収穫30日前まで、但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで	2回以内	土壌表面散布	4回以内 (粒剤は2回以内、水和剤は2回以内)	2回以内
みょうが (花穂)			収穫30日前まで	3回以内	定植前作条土壌混和又は生育期土壌表面散布		
しょうが					いもち病	土壌表面散布	
葉しょうが	根茎腐敗病		収穫21日前まで				
こんにゃく	根腐病	9kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	1回	1回
	白絹病		培土時				
ホップ	べと病	10~20g/株	株ごしらえ時~選芽期				
ピーマン	疫病	3g/株	収穫前日まで	3回以内	株元散布	4回以内 (粒剤は3回以内)	4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
とうがらし類 (ししとうを除く)				1回		1回	1回
ししとう				3回以内		4回以内 (粒剤は3回以内、水和剤は1回以内)	4回以内 (種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
パセリ		3回以内					
		12kg/10a	収穫21日前まで				

## 殺菌剤

名称:ユニフォーム粒剤  
種類:アゾキシストロビン・メタラキシルM粒剤

### 適用の範囲と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数	メタラキシル及びメタラキシルMを含む農薬の総使用回数	
オクラ	疫病	9kg/10a	収穫前日まで	3回以内	株元散布	6回以内 (全面土壌混和は1回以内、散布は2回以内、株元散布は3回以内)	5回以内 (種子への処理は1回以内、は種前の土壌混和は1回以内、は種後は3回以内)	
	苗立枯病	9~18 kg/10a	は種前	1回				
にんじん	しみ腐病				9kg/10a	は種時 又は定植時	1回	3回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)
みずな	白さび病	9kg/10a	は種時	1回				
こまつな かぶ					は種時			
チンゲンサイ タアサイ						定植時		
だいこん		6~9kg/10a	は種時	1回	4回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は3回以内)	2回以内 (種子への処理は1回以内、土壌混和は1回以内)		
ほうれんそう	べと病	9kg/10a						
べにばないん げん	茎根腐病	1g/株	定植時	1回	株元散布	2回以内 (種子への処理は1回以内、は種時は1回以内)	1回	
たばこ	疫病	6~9kg/10a	大土寄期					
		6kg/10a	移植前	作条土壌混和				
しちとうい	べっこう病	3kg/10a	生育期	2回以内	湛水散布	2回以内	2回以内	
くわい	茎腐病		収穫21日前 まで					
せり	葉腐病			1回				5回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)

## 殺菌剤

名称:ユニフォーム粒剤  
種類:アゾキシストロビン・メタラキシルM粒剤

### 適用の範囲と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数	メタラキシル及びメタラキシルMを含む農薬の総使用回数
ねぎ	白絹病	9kg/10a	土寄せ時 但し、収穫90日 前まで	1回	株元土壌混和	5回以内 (粒剤は1回以 内、水和剤は4 回以内)	5回以内 (種子への処理は 1回以内、土壌混 和は1回以内、散 布は3回以内)
ごぼう	黒あざ病	18kg/10a	は種前		作条土壌混和	1回	1回
トルコギキョウ (水耕栽培)	根腐病	0.25g/株	定植時		株元散布		
花き類・ 観葉植物	立枯病 (リゾクトニア菌)	18kg/10a	定植時 又は生育期	3回以内	土壌表面散布	5回以内	4回以内 (但し生育期は3回 以内)
たらのき	立枯疫病	20kg/10a	収穫終了後 (苗の場合は植 付後)～落葉前 但し、収穫60日 前まで	2回以内		2回以内	2回以内